

OZU
AGURUBITO

17.

西村 充

NISHIMURA MITSURU



AGURUBITO'S My Style!

残していきたい地元で
やりたいことをやる

OZU NO. 17. 西村 充
AGURUBITO

年齢 / 37歳 エリア / 長浜（上老松、大越） 販売先 / JA、直販、
産直市（あらせ市等）
作物 / キウイフルーツ、柑橘、栗

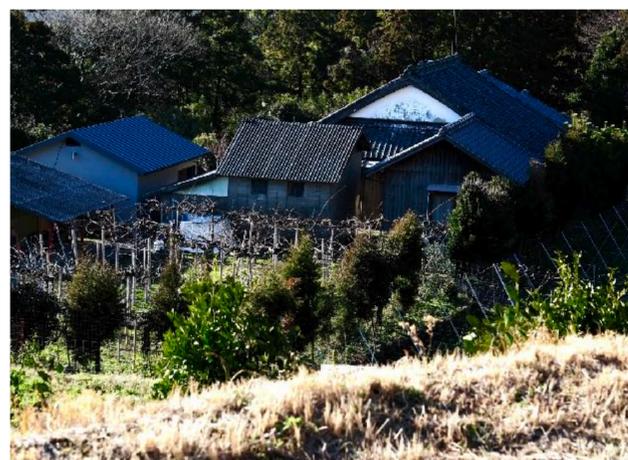


Uターンして山暮らし

4年前に勤めていた会社を辞め、家族とともにUターンし、祖母が営んでいた農業を継ぎました。

長浜の山間部にある農地で、まず取りかかったのは「環境整備」です。足りない機械を揃えたり、山のゴミを拾ったり、どんどん増えているイノシシ対策でワイヤーメッシュを整備したり、ワイヤーメッシュを整備するために放棄竹林を整備したり…。作業するにも軽トラが通れる作業道がなかったので舗装したり、石垣をDIYで修繕したりと1年間はこの作業に集中することとなりました。ただ、効率を突き詰めて整備して効果が出ると楽しいですし、きれいになっていく畑や山を見たときは、とても気持ちが良いものです。

山暮らしでは、こういった自然や環境との付き合いが必要である一方、美味しい筍を食べられることや表紙の写真のような美しい景色が見られること、何より自分自身のやりたいようにできることで何事にも変えられない豊かさを得ることができます。



ワイヤーメッシュの補修

も 地元こだわる

会社員だと転勤を伴うため度々妻の転職も必要ですし、仕事だけでは自分のやりたいことは出来ず、趣味もなかなか都会では出来ないものだったりモヤモヤしていたとき、実家が高齢や病気などで農業の継続が難しくなってきたタイミングだったことが、Uターンした大きなきっかけでした。

農業だと、良いことも悪いことも自分で積み上げたものがすべて自分に返ってくることもやりがいになるし、環境整備は必要だけど、やりたいことが出来るフィールドだったので、仕事の選択に迷いはなかったですね。

また、**地元長浜をもっと面白い場所にしたい**と思っています。肱川あらしに肱川河口の豊かな漁場。そして国産の供給を担うキウイフルーツ栽培。自身が農業に取り組むことで、長浜を残していきたいですし、地元も盛り上げていきたいです。



も 「やりたいことをやる」を地域とつなげる

趣味のバイクにスケートボード。西村農園のロゴを作ってオリジナルのコンテナや作業着を作ったり、雑草対策にヤギを飼ったり、キウイの剪定した枝をリース用に販売したり、卵かけご飯好きが高じて鶏を飼って新鮮な卵を食べたり、SNSで情報発信したりと様々な活動をしています。

今は、自分のスタイルで生きていくことが出来ているのですが、地域がしっかりと維持されないとそれも出来なくなります。**地域の高齢化や農業などの担い手不足には非常に危機感を持っています。**

そのために、**自分のやりたいことと、地域の課題解決を合わせて何かできないかと考えています。**まず、地域の人に長浜がキウイの大産地であることを知ってもらうことです。地域の学生にキウイの現状や現場を知ってもらいたいので、食育の活動やマルシェなどのイベントを仕掛けてみたいです。

農家が生産だけをするのではなく、人と人の繋がりを大事にしながら生産物を提供するようなこともしたいですね。例えば、キッチンカーで食べ方も紹介しながら生産物を売るようなこと。

そんな面白いことをしている大人がいることや魅力的な仕事があることを知ってもらえれば、地元もより面白くなるのでは。

NI

NSMR NOEN

※西村農園の新ロゴ

